

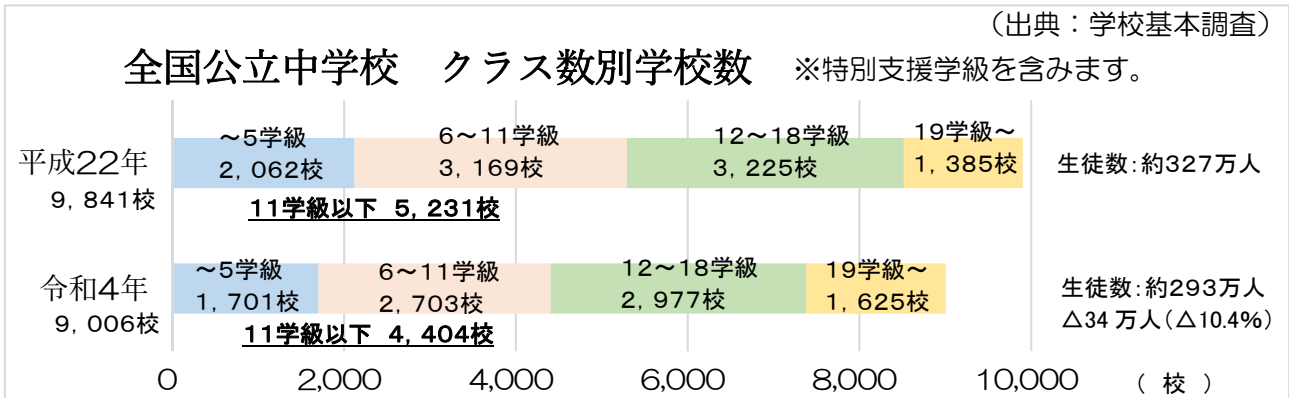
愛西市教育委員会では、愛西市立小中学校の適正な規模の検討並びに老朽化対策を進めています。
 今回 (Vol.4) は、「学校規模の推移 (中学校)」についてお知らせいたします。

全国及び愛西市の学校規模の推移について (中学校)

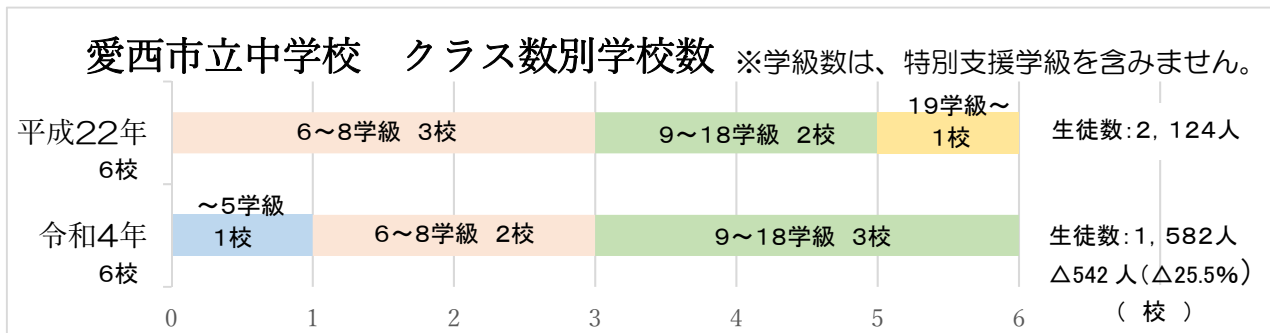
子ども達にとっては集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、高め合うことを通し、思考力や判断力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身に付けていくことが重要です。そのため小中学校についても、一定規模の児童生徒集団が確保されていること、経験年数、専門性、男女比等について、バランスのとれた教職員集団が配置されていることが望ましいとされています。このことから、全国的にも適正化の取組が進んでいます。

学級数	~5	6~8	9~11	12~18	19~24	25~
学校教育法施行規則第79条 (同規則第41条準用)				標準		
愛西市立小中学校 適正規模等基本方針	過小規模	小規模	適正規模		大規模	過大規模

以下のグラフは、全国と愛西市の生徒数の推移、クラス数別学校数の推移を表しています。

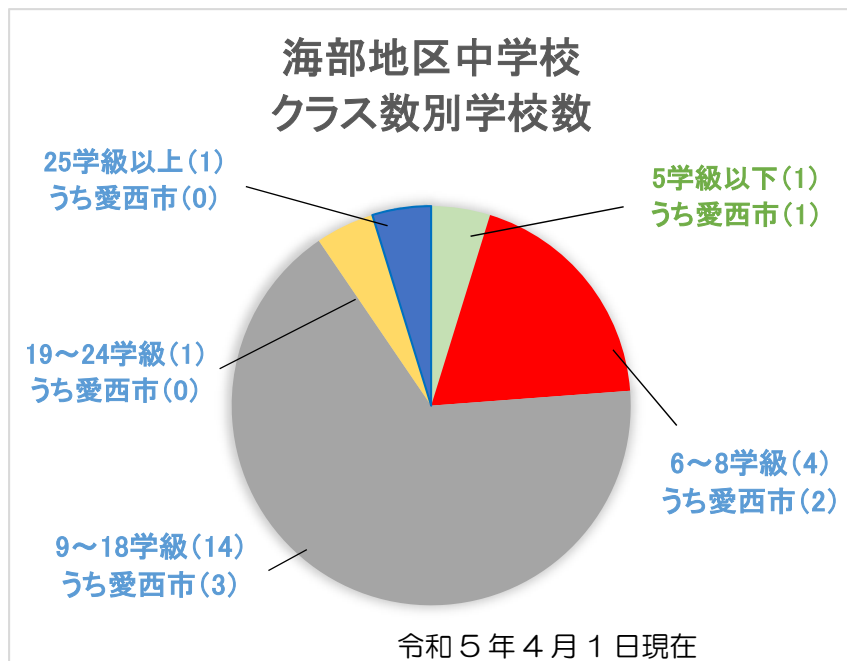


平成22年から令和4年の間で、全国公立中学校に通う生徒数は約34万人減少しています。一方で、学校の統合、学校規模適正化の取組により、中学校の数が835校減少した中、標準規模に満たない11学級以下の中学校も827校減少しています。



全国の推移状況と同様に、愛西市でも生徒数が減少しています。その一方で、中学校の数は変化していないことから、中学校の小規模校化（過小規模校を含む）が進んでいます。

愛西市と海部地区の中学校の規模について



※()内は学校数 ※特別支援学級は含みません。

現在の海部地区の中学校 21校は、左記のように、5学級以下が1校(愛西市)、6~8学級が4校(うち愛西市2校)で、残りの16校は全て9学級以上となり、約3/4の中学校が、愛西市の基準での適正規模以上の規模となっています。

※飛島学園は義務教育学校のため、含まれていません。

愛西市の教員配置について

愛西市立小中学校には、愛知県教育委員会に採用された教員や、登録した講師が配置されています。愛知県教育委員会採用教員は、原則、海部地区内で異動があり、各学校の学級数などの基準によって人数が決まります。

また、少人数学級への対応などのために、愛西市が独自に雇用している講師も配置していますが、全国的に教員不足と言われており、市が雇用できる講師を常時確保することは、非常に難しい状況にあります。

愛西市小中学校適正化に関する座談会について

7月下旬から8月中旬にかけて、立田・八開地区で町内別の座談会を開催いたしました。土日を含め、21日程(立田10日程・八開11日程)、42会場(立田20会場・八開22会場)で開催し、合計118人(立田69人・八開49人)の方に参加していただきました。

貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。

今回は立田・八開地区で開催させていただきましたが、地区にとらわれず座談会等は開催いたしますので、希望される方は下記問い合わせ先へご連絡ください。

座談会でいただいた具体的なお意見につきましては、次号の回覧やHP等でお伝えします。これまで発行した回覧につきましてもHPに掲載しておりますので、是非ご覧ください。

発行：愛西市教育委員会事務局教育部学校教育課
0567-55-7136 / gakkou-kyoiku@city.aisai.lg.jp